

# 会派の意見

## 12月定例会を振り返って

### 市民クラブ

12月議会の最中、政府は世論に押し切られる形で18歳以下の子どもへの10万円給付を現金一括も含め認めました。クーポン発行経費や煩雑な事務、手元に届くまでの期間を考慮すると、一括給付が適切です。地方自治体は、国の方針に従わざるを得ず右往左往しました。子育て世帯の多くが全額現金給付を望んでおり、その方向で急ぎよ、市も補正予算を追加提案して対応しました。岸田総理の「聞く力」に振り回された格好となりました。

桂浜公園の新しい指定管理者を指定する議案について、執行部に対しても懸念する意見はありましたが承認されました。指定管理者

には、高知市や桂浜の他の施設とも連携して、桂浜の再生と新たなにぎわいの創出を期待します。

### 日本共産党

コロナ対策等で積極提案。西敷地利活用は「事業者丸投げ」を指摘。

【個人質問】コロナ対策として、子育て世帯給付金の全額現金支給、市民に寄り添うワクチン接種体制や第6波に備えたPCR検査の拡充を提案。また、急増する不登校への支援も求めました。

【補正予算】オーテピア西敷地の債務負担行為再設定は、利活用の選定手続きを今以上に事業者へ丸投げするものと指摘し、関連予算を削除する修正案に賛成しました。【意見書・陳情】コロナ後遺症の支援やワクチン副反応の救済制度充実を求める意見書案を提出し、戦没者の遺骨を含んだ沖繩の土砂を基地建設に使わないこと等を求める陳情に賛成討論を行いました。

### 自由民主党・中道の会

子育て世帯等特別給付金に関しては、全国的にその支給方法について問題となりました。当会派は早い段階で現金給付を訴え、可能な限り一括給付を実現できると、12月8日に市長へ直接要望書を提

出したしました。多くの声もあり令和3年中に実現できたことに安堵しております。また来年度の予算編成に向け、新型コロナ対策、各地域の課題、各産業界の課題について現状と課題をまとめ、3年11月24日に「令和4年度予算への要望、中長期的課題に対する提言」を市長へ直接届けております。大変厳しい財政状況が続いておりますが、均衡を保つ執行となるよう注視してまいります。個人質問には清水、横山が登壇しました。

### 公明党

市民ニーズに寄り添う事を求む！

多くの関心を集めた「子育て世帯への臨時特別給付金」。その支給方法について国会論戦を注視しつつ、本市での令和3年中の現金支給の提案を行い、現金一括給付が実現したことに安堵しています。

また、休館する国民宿舎「桂浜荘」職員一人当たり6カ月間の給与相当額の損失補償費がそのところとおり支給されていない点をただしたところ「本市は支援額の配分を行う権限を有していない」との答弁があり、経済文教委員会に詳細な報告を求め実施するとの確約を得ました。公明党は、2300万円の適正な執行を求めてまいります。

### 新こうち未来

春野「小松の沼」違法盛土で言及 条例に基づく造成届け出を認めてきた岡崎市長が、「民間のことだから」とする答弁に、責任逃れであると氏原議員が反発。また、新図書館西敷地の利活用については、多くの市民が多様な利用ができる広場を求めている。選定委員会等の債務負担行為の経費については、削除を求める修正案を提出した。

### 山嶽会

身近な課題を市政に反映

高橋裕忠議員が本会議で登壇し、南海トラフ地震対策から過疎地域の課題について質問・提案をいたしました。今後とも市民の皆さまの身近な声に耳を傾け、市政に著実に反映させてまいります。

### 清和クラブ

動物愛護センターの早期開設を

海治甲太郎議員は動物愛護の広報活動と適正飼養のための切れ目ない予算を要望。動物福祉の観点から、ボランティア団体との連携・協力を求め、動物愛護センター開設に向け県・市連携を確認した。